

地域の太陽 あおがきっ子

青垣小学校 校長だより 令和8年9月号 発行責任者 植木政行

【こども会議】わたしたちの声 青垣でやってみたいこと

8月23日(日)に、青垣中学校体育館を会場として、青垣地域コミュニティ・スクール『意見交流会「こども会議」』を開催しました。

青垣小中学校学校運営協議会が主体となる青垣地域コミュニティ・スクールでは、毎年、地域の方・保護者・教職員による熟議や意見交流会を実施して、「青垣のこどもたちのために何ができるか」を協議し、学校支援ボランティアとしての活動や地域資源を活用したふさと学習の展開などにつなげてきました。

発足10年の節目となる今年は、『みんなの思いを聞かせて!』と、主役であるこどもたちの声を、大人が直接聞く話し合いの場を設けました。

小学生7名、中学生15名の『わたしたちの声 青垣でやってみたいこと』に、青垣小中学校学校運営協議会、青垣地域子どもを育む協議会、芦田自治振興会、佐治地域自治協議会、神楽自治振興会、遠阪自治協議会、学校支援ボランティア、保護者の皆様、教職員が耳を傾けました。



学校運営協議会 橋本崇史会長
「今日は、こどもたちの思いを
しっかりと聞きましょう。」



参加していただいた地域の方々

わたしたちの声 学校でやってみたいこと

前半は、こどもたちが小学校2グループ、中学校3グループに分かれて、『学校でやってみたいこと』について意見を出し合いました。その一部を紹介します。

【小学校】

- ・学校でお泊り会をして、お化け屋敷や肝試しなど、夜の学校を楽しみたい。
- ・運動会で、二人三脚、親子おんぶリレー、親子対抗リレーなどをしたい。
- ・全学年での勉強会をして、教え合いをしたい。上級生が下級生に教える。中学生に来てほしい。
- ・修学旅行の日数を自然学校より長くしたい。

【中学校】

- ・アマゴつかみや丹波布など、青垣の特産物や伝統を知る交流イベントをしたい。
- ・登下校は髪形をきちんとし、校内自由にしたい。
- ・小学生と一緒に「学校かくれんぼ」をしたい。
- ・小中一貫のよさを生かせるイベントをしたい。



わたしたちの声 地域でやってみたいこと

後半は、地域ごとのグループに分かれました。
意見の一部を紹介します。

【芦田】

- ・本が好きなので、本屋さんがほしい。
- ・アニメが好きだけど、大阪や神戸に行かないとショップがないので、あればいいな。
- ・青垣は風景がきれいなので、映像作品を撮ったり、コンサートをしたりしたい。江古花園は映えそう。古い感じの街並みもきれい。
- ・バスの本数が少ない。芦田にもっとバスを通してほしい。高校の通学に使える。

【佐治】

- ・子ども会での行事がなくなってきたから、みんなでどこかへ遊びに行きたい。水族館とか。
- ・みんなで陶芸をしてみたい。丹波布を織りたい。
- ・正月に餅つき大会をしたい。
- ・いずみ会の方にお世話になって、こども料理会をやってみたい。
- ・ボールも使えて、自由に遊べる広場がほしい。
- ・電車の駅が近くにほしい。

【神楽】

- ・地域の運動会をしたい。
- ・地域内で、年齢を問わず駅伝をしたい。地域を知ることにもつながる。
- ・しめ縄教室など、自分で作る体験をしたい。
- ・中学生も「夏休み神楽学習会教室」に参加したい。中学生が小学生を教えるのもいいな。
- ・探究ラボで神楽地域の過疎化を知り、何とかしたいと思った。空き家を活用したい。
- ・神楽地区全体の花火大会をしたい。

【遠阪】

- ・歩道が凸凹して、自転車が通りにくいので、平らにしてほしい。
- ・遊びに行くときなど、小学生は自転車で行動できる範囲が限られている。距離も遠いので、地域を巡回するデマンド型の車がほしい。
- ・こどもが自由に買い物をできる文房具店やだかし屋がほしい。
- ・カフェのような学習自習室がほしい。



「こどもたちは、青垣が大好きなんだ!」と、強く感じました。そして、青垣小学校と青垣地域の未来像を具体的に描いていることに驚きました。こどもたちの願いに地域の方が真剣に耳を傾け、なんとか実現させたいと考えておられる姿に感動しました。

小中一貫教育を生かした取組や地域でこどもと大人が交流できる料理教室、旅行、運動会など、青垣地域の豊かなコミュニティのなかでの展開を望む声がたくさんありました。こどもたちが、学校や地域に意見を反映させ、参画していくことをこれからも大切に、学校と地域に誇りをもって大きく成長できるようにつなげていきたいと思います。